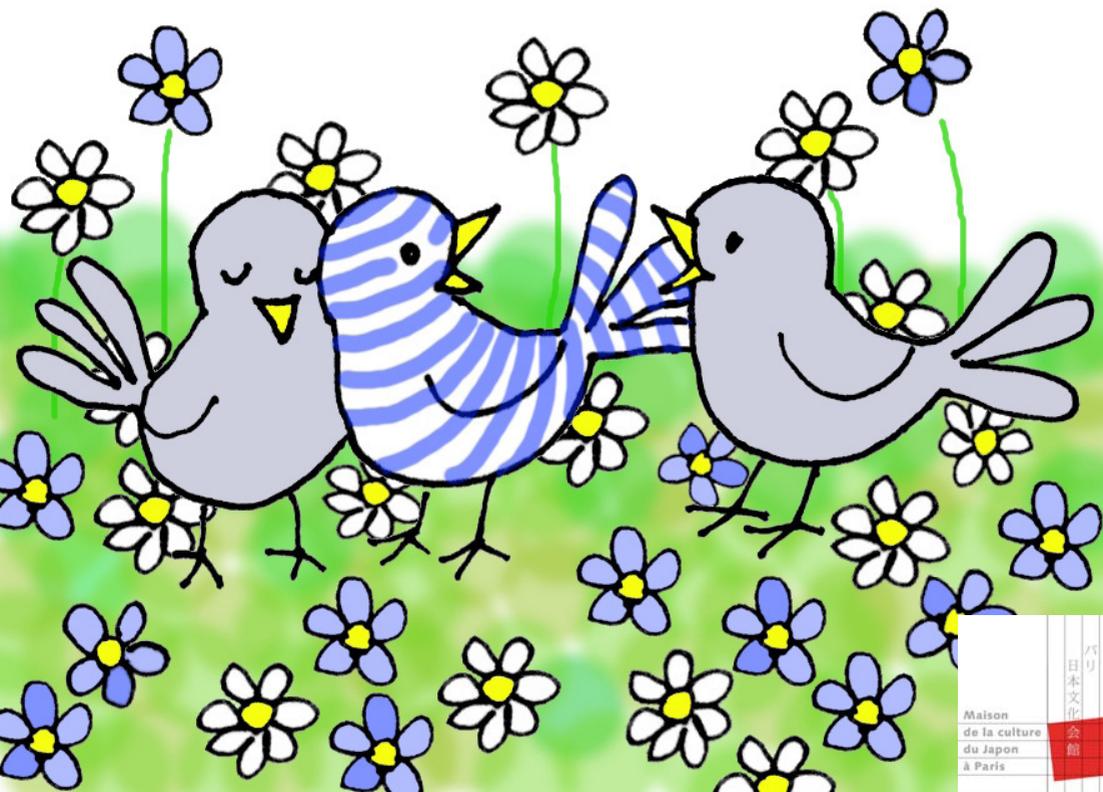


# しましまの鳥とり

さく 作  
え 絵

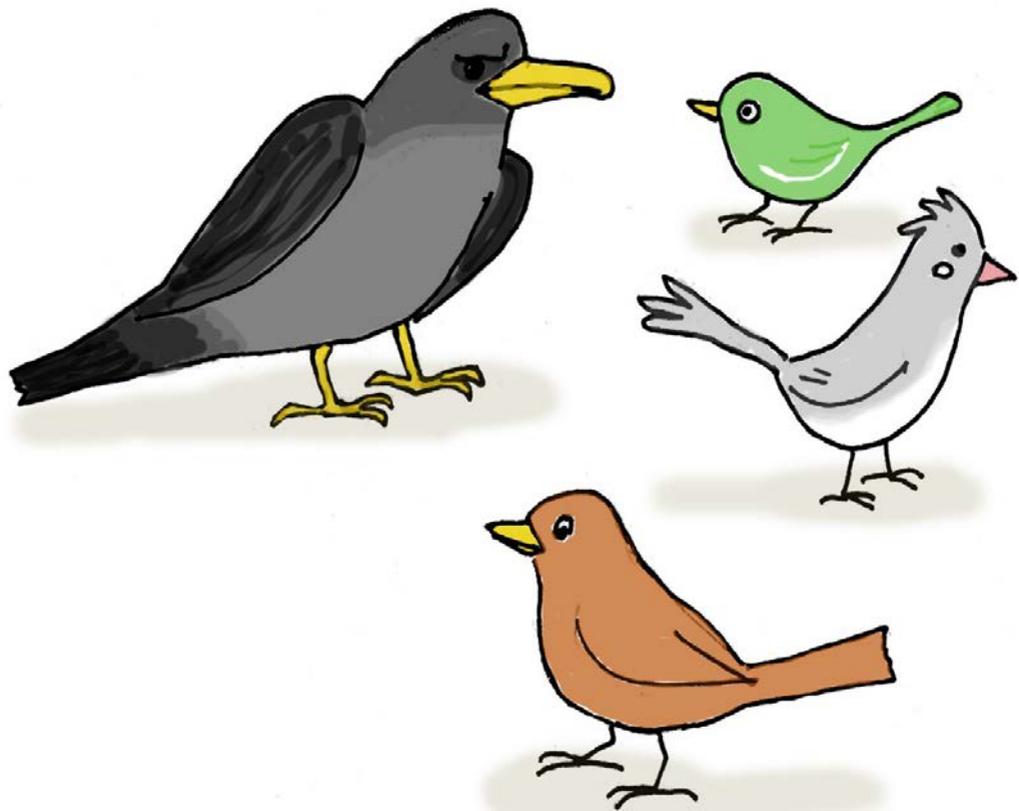
なか お ゆき え  
中 尾 雪 絵  
ば ば きょう こ  
馬 場 恭 子



しましまの鳥<sup>とり</sup>

さく なく お ゆき え  
作 中 尾 雪 絵  
え ば ば きょう こ  
絵 馬 場 恭 子

みどりの鳥、  
 茶色の鳥、黒い鳥、  
 ちよつと灰色の鳥、  
 そして…

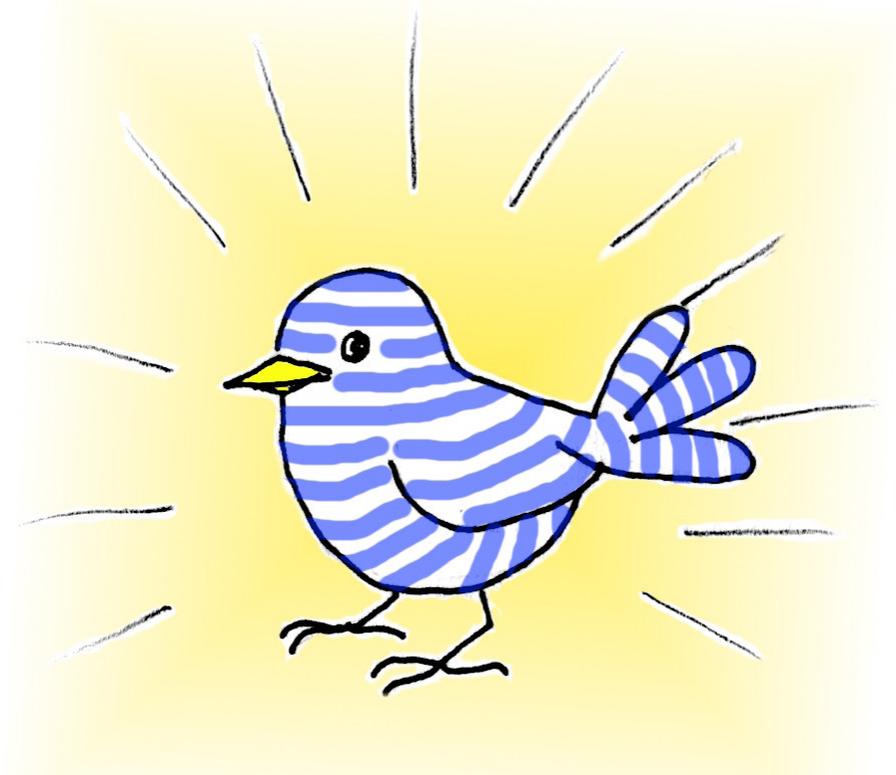


森の中に、  
 たくさんとりの鳥が  
 住すんでいます。  
 小さい鳥、  
 大きい鳥、  
 足あしが長い鳥、  
 泳およぐのが好きな鳥、  
 遊あそぶのが大好きな鳥…



しまちゃん、  
めずらしい  
しましま模様で、  
小さいときから  
有名でした。

しまちゃんがいいます。  
あおしろ  
青と白の  
しましまです。

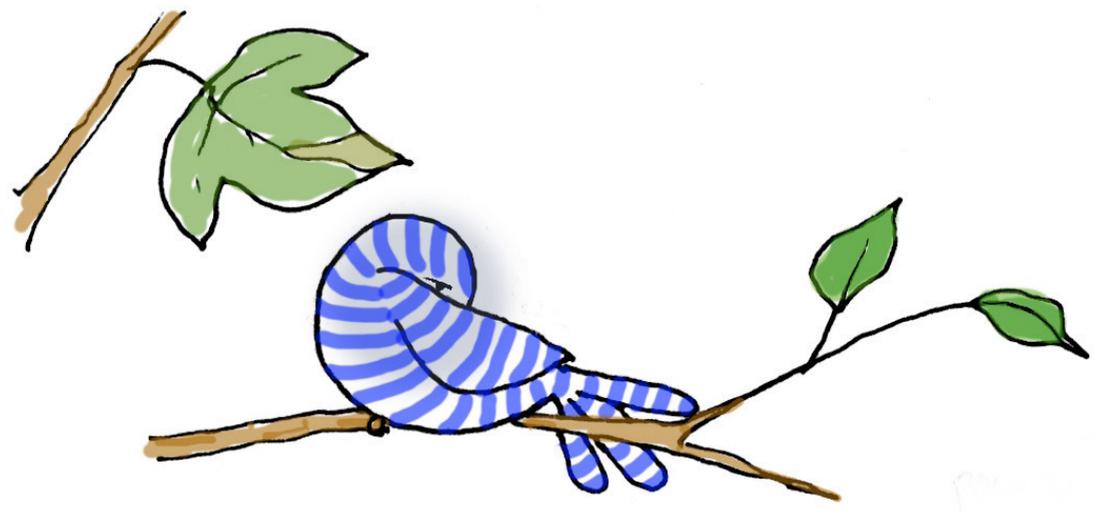


でも、このごろ、  
ちよつと元気がありません。  
どうしたんでしよう。

しまちゃんには、  
悩みがありました。

食べ物を探しているとき、  
青と白の

きれいなしまのせいで、  
他の動物に  
すぐ見つかるのです。



「ごめんね、  
しまちゃん」

そう言って、

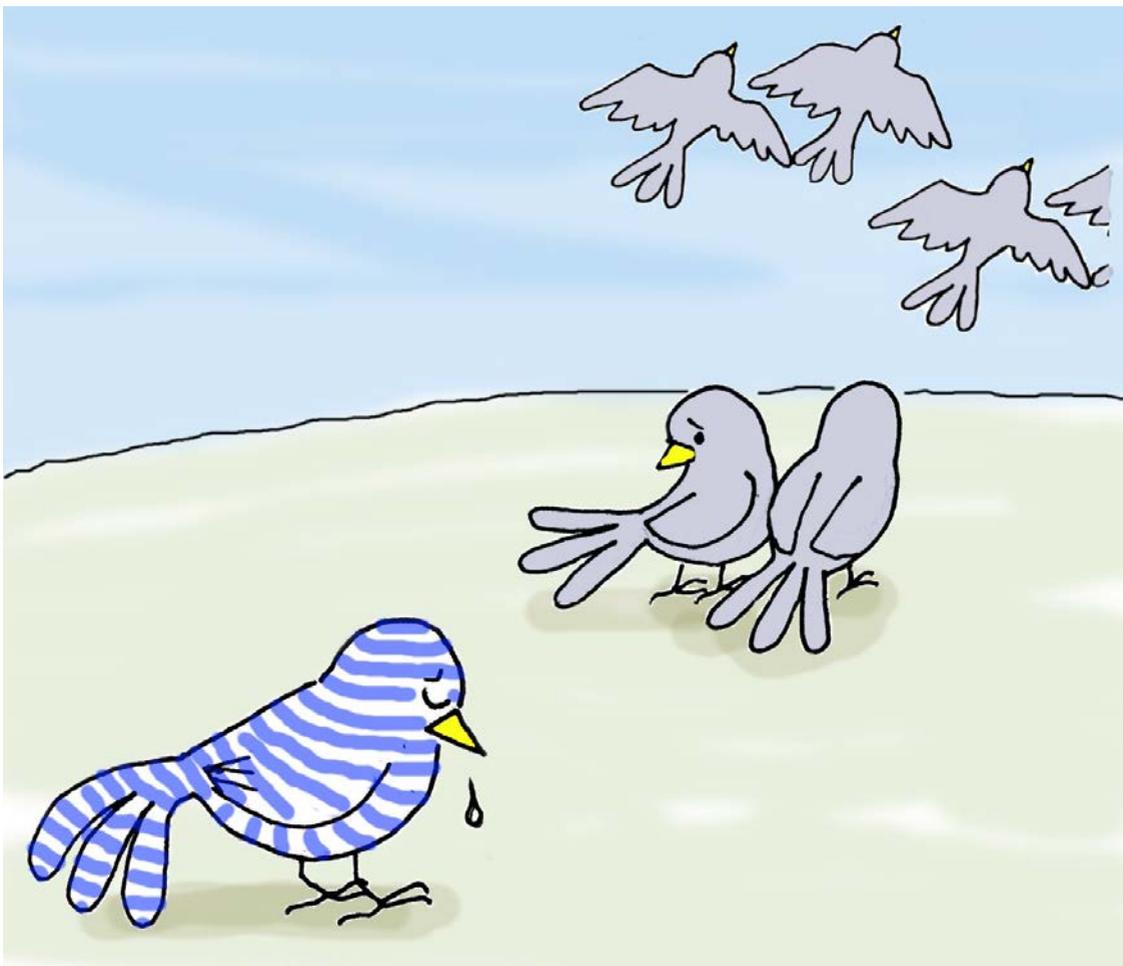
他の鳥は、

しまちゃんと

いっしょに

食べ物を探すのを

やめてしまいました。



しまちゃんは、

自分のしまが、

もう好きではありませんでした。

だから、ずっと巣の中にいて、

ときどき食べ物を探しに、

ひとりで出かけました。

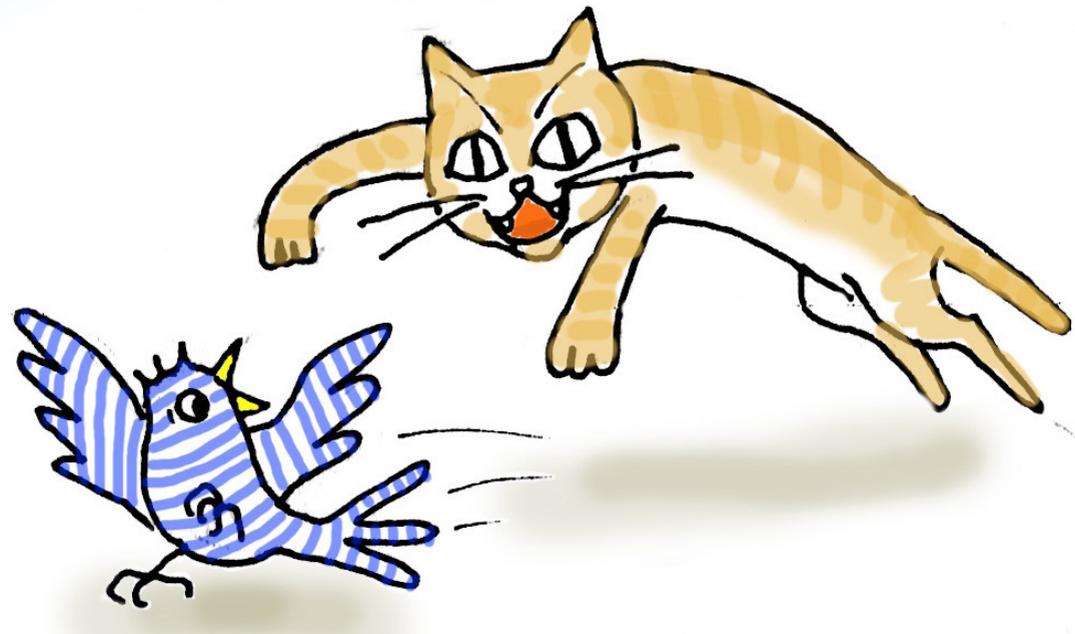




みんなは心配しんぱいしました。  
「しまちゃんはどこ?」  
「どうしたんだろう?」  
「しまちゃん、元気げんきかな?」

ある日、  
怖いことがありました。  
しましまのせいで、  
大きな動物に見つかって、  
食べられそうに  
なったのです！

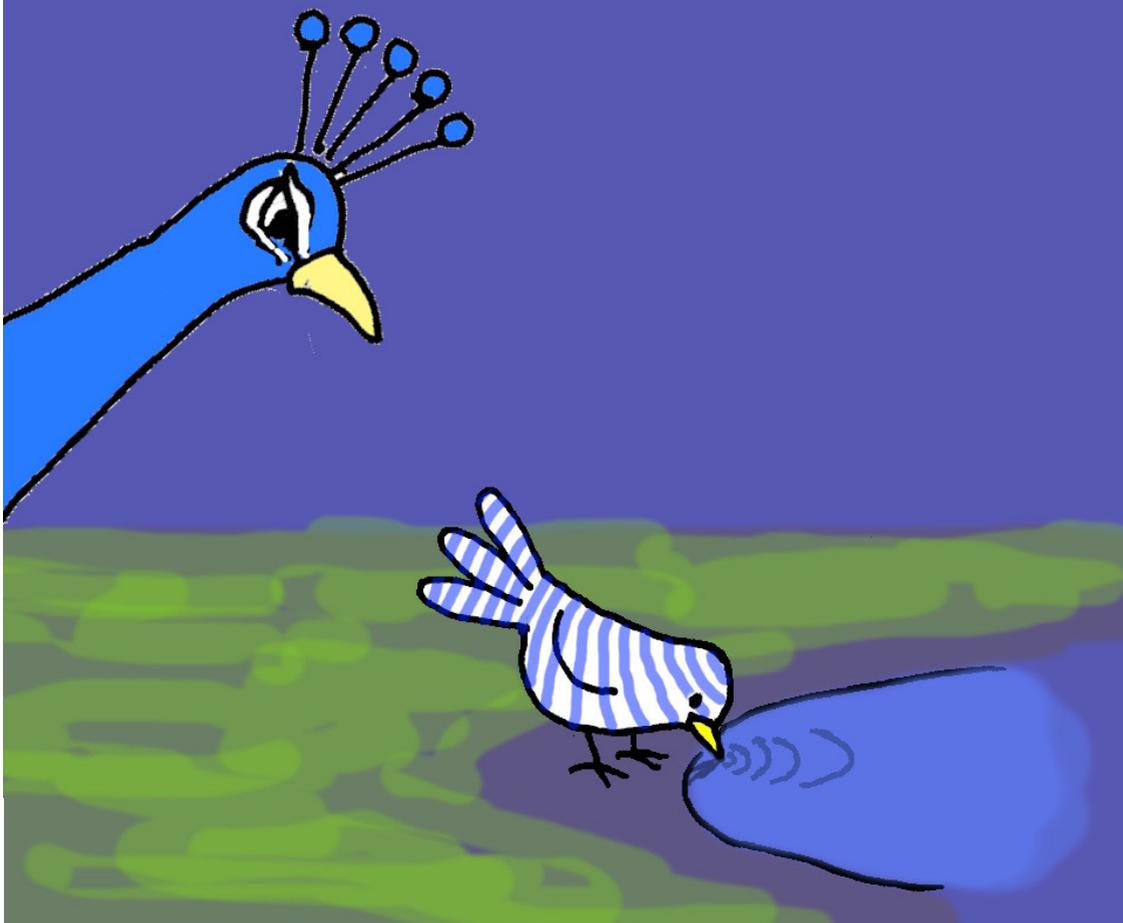
しまちゃん  
は  
疲れてしまいました。  
「このしましま、  
ほんとうに大嫌いだ！」



その夜、  
しまちゃんは  
巣を出ました。  
とても美しい夜でした。

しまちゃんは  
泣きながら、  
暗い空を  
飛びました。





「このしましまのせいで、」

他の鳥ほかとりといっしょに

食べ物たものを探さがすことができません。

だから、ひとりなんです」

すると、クジヤクは言いいました。

「わかりますよ」

そして、クジヤクは羽はねを広ひろげました。

とても大きおおくて、美うつくしい羽はねでした。

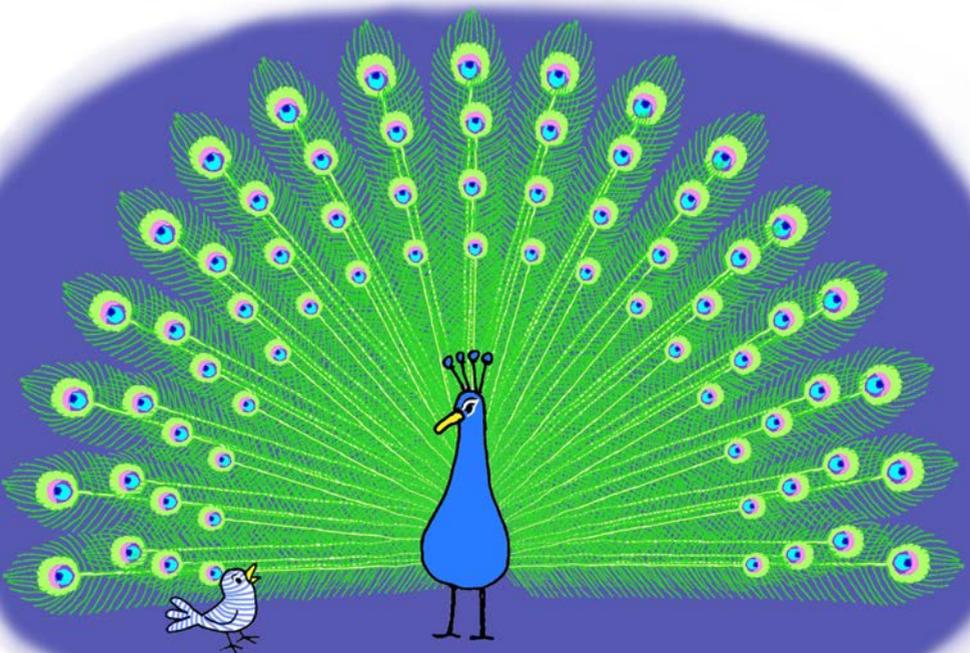
しまちゃん**はびっくり**しました。

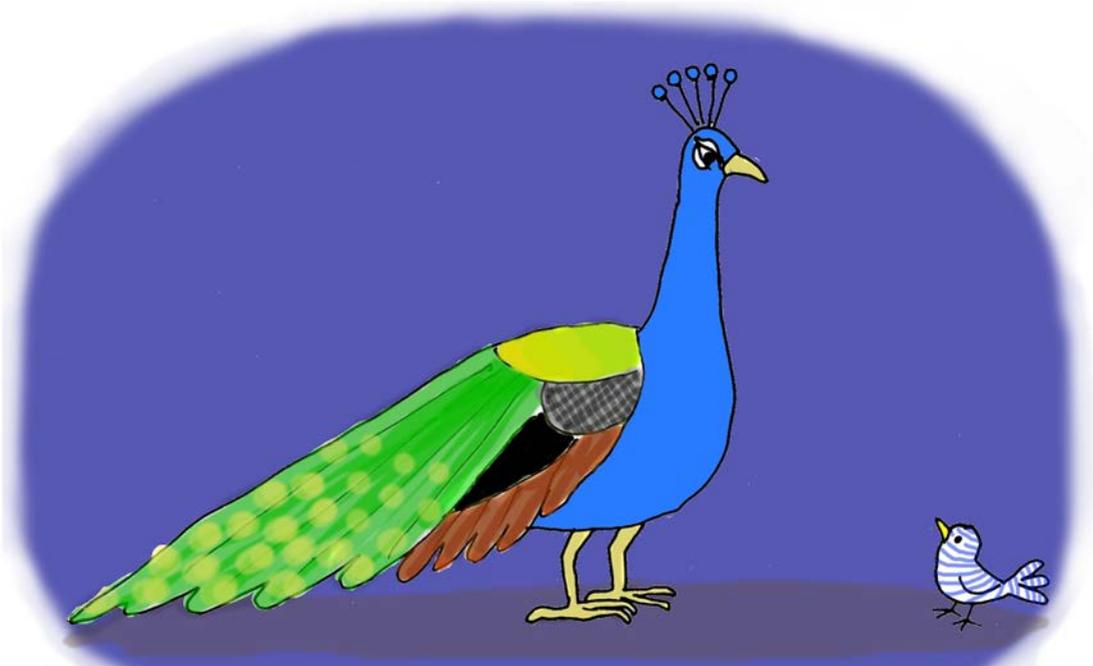
「うわあ、きれいですね！」

「でしよう?」**と**言いって、

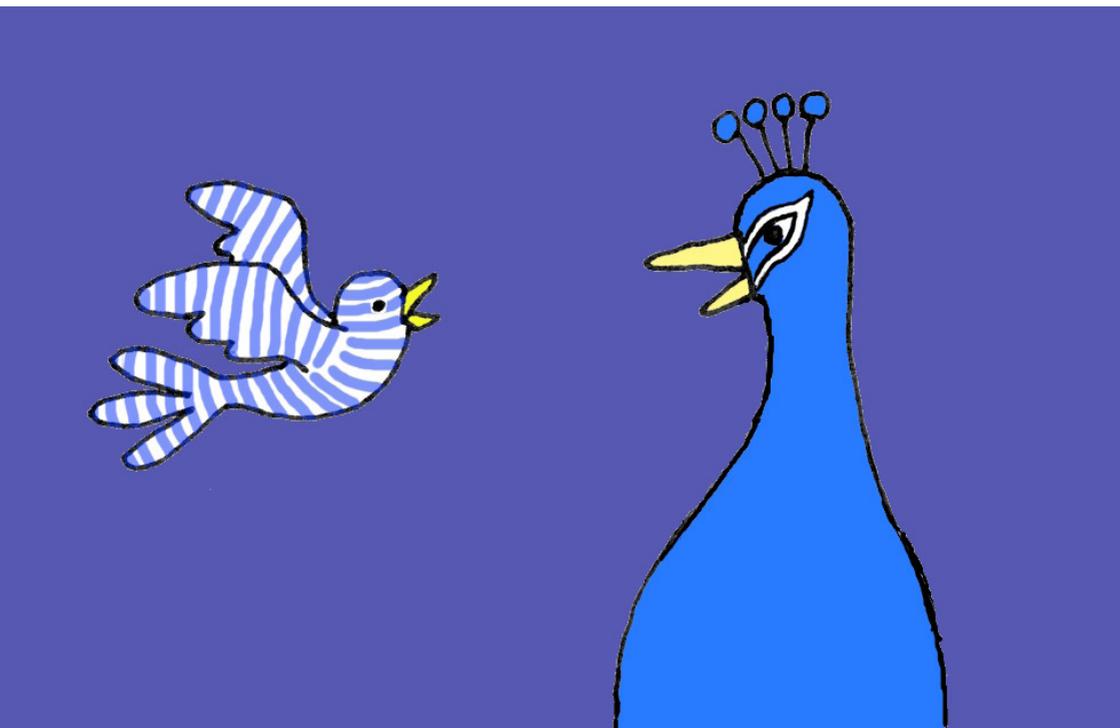
クジヤクは羽はねをたたみましました。

小さな泉いずみで、しまちゃんは、  
水みずを飲のみましました。  
とてもおいしい水みずでした。  
そのとき、  
「こんばんは」と、  
声こえが聞きこえました。  
大きなクジヤクでした。  
「こんばんは、クジヤクさん」  
「こんな遅おそい時間じかんに、  
ひとりですか」  
「...ええ」と、  
しまちゃんは答こたえました。





しまちゃんはため息をつきました。  
「私だけ、しましななんです。  
小さいときは、このしましまが  
大好きだったけど…」  
すると、クジヤクが言いました。  
「ほら、ここにある花は、  
色も形もいろいろでしょう」  
「ええ」  
「鳥も同じ。」  
色も形もいろいろだから、  
おもしろいのです」



「この羽は、きれいです。  
でも、この羽を見ると、  
みんながびっくりするから、  
ちよっと恥ずかしい。  
でも、  
これがクジヤクの羽です」  
クジヤクは、言いました。



そんなとき、  
へびが木に登っているのが  
見えました。  
木の上には、  
鳥の赤ちゃんがいます。  
でも、  
お母さん鳥がいません。  
「危ない！」  
しまちゃんは、  
急いで  
へびに近づきました。



しまちゃんは、  
朝までクジャクと話して、  
それから、  
森へ帰りました。  
森には、大きな木、小さな木、  
いろいろな形の花…  
みんな違っていました。  
「みんな違う…。  
色も形も大きさもいろいろ…。  
だから…  
いいんだ！」

そして、クジャクのように、  
自分の羽じぶん はねを広ひろげました！

へビは、

しまちゃんの

きれいな青あおと白しろのしましまに

びっくりして、

木きから落おちてしまいました。

そして、

どこかへ逃にげていきました。

そこへ、

お母かあさん鳥どりが帰かえってきました。

「しまちゃん、ありがとう！」





いま、しまちゃんは、  
 なかま と楽しく暮らしています。  
 みなさんも、  
 もり 森へ行くことがあったら、  
 しまちゃんを  
 さが 探してみてください。



ニュースを聞いて、  
 みんなが、  
 しまちゃんに会いに来ました。  
 「しまちゃん、すごいね」  
 「しまちゃん、かっこいい」  
 しまちゃんは、自分の羽が  
 きれいなしましまでよかった、  
 と思いました。  
 そして、自分のしましまが、  
 またちよつと好きになりました。

さく なか お ゆき え  
作 中尾 雪絵

おおさかう げんざい ざいじゅう  
大阪生まれ、現在フランスのナント在住、  
ナント大学で日本語を教える日本語教師。  
しゅみ たね そだ えんげい  
趣味は、(種から育てる) ベランダ園芸と  
ごりょうめぐ  
御陵巡り。  
しゅうまつ たの  
週末の楽しみは、パン・オ・ショコラ  
またはクロワッサン。



え ば ば きょう こ  
絵 馬場恭子

いばら き けんしゅっしん  
茨城県出身。  
し みん だ い が く  
ドイツ、ヒルデスハイム市民大学と、  
お う よ う か が く げ い じ ゅ つ だ い が く に ほ ん こ  
ハノーバー応用科学・芸術大学で日本語を  
お し  
教えている。  
しゅみ え か  
趣味は絵を描くことと、バードウォッチング。



へんしゅう めぐみ ありすえ じゅん  
編集 石川芽生, 蟻末 淳

と  
しましまの鳥

しよほんほっこう  
2025年11月20日初版発行

さく なか お ゆき え  
作 中尾 雪絵  
え ば ば きょう こ  
絵 馬場恭子

はっこうじよ こくさいこうりゅうききん にほんぶんかいかんにほんごじぎょうぶ  
発行所 国際交流基金パリ日本文化会館日本語事業部



国際交流基金パリ日本文化会館日本語事業部